

会議録（１）

会議の名称	第1回 飯能市介護保険事業計画等策定委員会
開催日時	令和2年8月27日（木） 開会 午後1時30分 閉会 午後 3時 30分
開催場所	飯能市役所 本庁舎別館 会議室3
議長氏名	大野 康
出席委員	孔 炳龍 笹岡 勉 大野 康 栗林 亨 双木和宏 池田徳幸 鈴木正男 木崎幸長 吉田導行
欠席委員	小川 晃男
説明者の職氏名	飯能市長 大久保 勝 健康福祉部長 町田守弘 介護福祉課長 五十川美也子
傍聴者の数	0人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	○飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画（第8期計画）策定作業スケジュール（案） ○「介護保険事業の状況」介護保険事業計画・老人福祉計画（第8期計画）策定委員会 ○令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等結果報告書
事務局職員職氏名	介護福祉課 健康福祉部長 町田 守弘 介護福祉課長 五十川美也子 介護保険担当 主幹 加藤かおり 〃 主任 村上 久美恵 〃 主任 岩田 葉月

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	1 開会
	2 委嘱状交付
	3 あいさつ 飯能市長
	4 自己紹介 各委員・事務局・コンサルタント
	5 正副委員長の選出 委員からの推薦により、委員長に小川委員長、副委員長に大野委員が選出された。大野副委員長就任のあいさつを行う。
	6 議事 それでは、議事に入らせていただきます。小川委員長が本日、欠席のため、大野副委員長に議長となつていただきます。よろしくお願いいたします。
議長(副委員長)	しばらくの間、議長を務めさせていただきます。はじめに、(1) 計画策定のスケジュールについてを議題とします。
事務局	(資料に基づき、事務局にて説明)
議長	これより質疑に入ります。質疑はございますか。 (質疑なし)
議長	次に(2) 介護保険事業の状況についてを議題とします。 (資料に基づき、事務局にて説明)
議長	質問はございますか。

	(質疑なし)
議長	委員の皆様から、一人ずつご意見等をいただきたいと思います。
委員	国の示した基本指針によると、第8期計画は2025年さらには2040年までの、第7期計画よりも少し先を見据えた視点の計画となっています。
	台風や新型コロナウイルスなどの感染症対策など災害への対応や現行計画の推計値と実際の数値との乖離をきちんと分析することが第8期計画の参考となるのではないかと思います。
議長	他にご意見やご質問はございますか。
委員	基本方針のサービス基盤、人的基盤の整備についてですが、飯能市の施設サービスのベット数、部屋数等について、実際にどれくらい稼働しているのかという稼働率についても分析をしていただきたい。埼玉県内で既に地区によっては利用者数が減ってきている地区があったり、施設を作ったものの人員が確保できなくて、ベットを稼働できないという2つの理由があると聞いています。有料老人ホーム・老健施設の空き状況についても調べていただき、計画に活かしていただきたい。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。そのような視点も持ち、市内の施設等の状況の情報も取り入れながら、計画に反映させていきたいと考えております。
議長	他にご意見やご質問はございますか。
委員	これから事務局でお調べいただくとのことでしたが、サービス未利用者の割合が国や県より多いとのことですが、なぜ、サービスに繋がっていないのかについて教えてください。
議長	課題ということでもよろしいでしょうか。
	他にご意見やご質問はございますか。
委員	基本方針の6について、地域包括システムの策定は、若い世代・医療

	<p>・地域の3つがうまくバランスをとっていかなければならない。看取りも含めた関係性の視点と、地域で支える部分が計画に反映しにくい。地域での見守りということもあるので、そういったことも少し盛り込んでいただくようお願いしたい。</p> <p>基本方針の7のところで、地域で災害が発生したときに、コロナ等の発熱者をどこで待機させるのかなども課題となっています。サービス提供の際の安全ということもありますので、ご検討をいただければと思います。</p>
事務局	<p>検討してまいります。</p>
議長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>高齢化率は県内でも高いレベルにあるにもかかわらず、介護認定者の出現率が低くなっていることについては、介護予防については、地道な地域での予防活動の取組の成果が出ていると思います。</p> <p>第7期計画の4つの重点取組を説明いただいたが、その中で一番、課題が多いものはどれでしょうか。課題の部分をしっかり分析し、第7期計画の成果を第8期計画に繋げていくのが大切だと思います。</p>
事務局	<p>4つの重点施策について、どれも取り組んでまいりましたが、中でも成果があったと自負しているところは認知症の施策の推進です。徘徊高齢者等 SOS 模擬訓練「ひとり歩きやさしい声かけ訓練」など自治会や地域で昨年度も3地区で実施しました。また、認知症カフェなども進んでいます。</p> <p>難しいと考える課題は、医療と介護の連携です。その中で、在宅医療と介護の連携につきましては、介護部門だけで頑張っても医療との互いの理解がないと進まない施策です。最近では医療の理解も進んでおり、特に在宅での医療の意識が進んでいるように思います。第8期計画ではさらに力を入れて取り組んでいきたいと思っています。</p>
議長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>団塊の世代が高齢化すると、介護サービスを利用する方も増えて、介護給付費が増加してしまう。そのため、介護予防の強化が始まったと思</p>

事務局	<p>います。地域での介護予防が強化され、取組が進んでいますが、今年度については新型コロナウイルスのため、「たすけあいあがの」等の地域の活動は中止しています。新型コロナウイルスで事業が進んでいない状況ですが、今後の対応をどう考えていますか。</p> <p>飯能市の高齢者人口は増加していきませんが、市全体の人口は今後、少なくなっていくと見られます。支える側の若い世代が少なくなることを踏まえて、保険給付費のことも考えていかなければなりません。</p> <p>市としては、高齢者の数は増えますが、元気な高齢者を増やしていきたいと考えております。そのため、介護予防など力を入れて、介護サービスが必要な人を少なくしていきたいと考えております。</p> <p>新型コロナウイルスの関係で、現在、地区で行っている助け合いのサービスや体操教室など高齢者が集まるものは控えていただいております。新型コロナウイルスについて、本市の判断ではこの秋や冬に無くなるものではないと考えていますので、秋からは、新型コロナウイルスがあってもできる方策を考えていこうという方針で取り組みを考えています。地区の方と相談しながら、できるやり方で少しずつ再開していこうと考えています。</p>
議長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>基本指針に赤字で書いてある、災害対策や新型コロナウイルス対策等、サービスの安全性をしっかりと考慮していくこと、PDCAサイクルをしていくことが大切だと思います。</p> <p>基本方針6の、介護ロボット・ICTの活用等について、革新的な取り組みを行っている施設はどれくらいありますか。</p>
事務局	<p>まだ、施設で取り入れているところは少ないのですが、太行路でマッスルスーツを導入されたと記憶しています。</p>
委員	<p>あしかり園では、見守りセンサーを2019年に導入しています。高齢者の行動を把握することができるので夜勤に効果があります。</p>
議長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>

委員	<p>地域包括ケアシステムを推進するためには、非常に色々な所が関わっていないと難しいと思います。看取りまでという話になると、多くの方が関わることになりすし、そのような組織を作っていかなければいけないと思います。飯能市には現在そのような組織はありますか。</p>
事務局	<p>第一層協議体、第二層協議体などを組織し、色々な職種の方を集めてご意見をいただいています。医療との連携につきましては、「在宅介護医療連携拠点はんのう」を福祉センターに置き、医療と介護の橋渡しをする拠点としています。まだまだ十分に活用されていないので、改良の余地はあります。</p>
委員	<p>医師会との連携はあるのですか。</p>
事務局	<p>医師会とも連携しています。熱心に在宅医療に取り組んでいただいている先生もいます。また、ケアマネジャーが退院時のカンファレンスに参加して、在宅での支援に繋がっています。</p>
委員	<p>医師会に委託している在宅拠点では、登録されている先生の一覧がありますので、相談いただくと、主治医がいれば主治医に、居なければ近くの医師を紹介しています。</p> <p>退院カンファレンスについても、病院と医師会が中心となって、退院をどうやって進めるかというマニュアルを作成し、医療関係者と介護関係者で共有し、地域のサービスにつなげられるようにしています。退院する際には、地域包括支援センターやケアマネジャーと連携する体制を作っています。</p>
議長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
事務局	<p>事務局側で補足をさせていただきます。地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み、在宅医療と介護の連携につきましては、飯能地区医師会の管内では、第6期計画の時代から多職種連携座談会（ワールドカフェ）を実施しています。医師、歯科医師、薬剤師、福祉の事業者、市民の方等が交わり、顔の見える関係をもって色々な協議を重ねてまいりました。どういう形で高齢者を地域で支えていくか、専門職としての支援の仕方をどういう風にケアしていくのかなどに取り組んでおり、この地</p>

	<p>域の大きな特色と考えております。</p> <p>地域福祉の観点から飯能市の場合は地域福祉を推進していくために、「たすけあいあがの」のように、地域の方々が地域の中で地域の方を支援していこうという流れができており、地域の中での役割を明確に作り、取り組んでいこうという地域づくりを展開しています。福祉の事業と介護の中での事業とをうまくマッチさせて、取り組んでいくことがより一層飯能市の高齢者を支えていく上での重要な部分だと考えております。</p>
議長	<p>計画書の37ページにある基本目標、基本理念が大事で、いま介護人材、介護職に就きたい、医療職に就きたいという人が減っている。飯能市で長く暮らしていきたい、亡くなるまで在宅で暮らしていきたい、飯能市で介護や生活のために働いていきたいと思ってもらえるような地域にする、そういう計画にすることなどを第8期計画では書き込んでいただきたい。また、災害や新型コロナウイルスのことも書き込んでいくことになるかと思います。</p> <p>事務局には、在宅介護のケアシステムのあり方で、こんなことをやっていますとか、全国的にも評価を受けていることもあるかと思うので、わかる範囲で盛り込んで、1枚にまとめた資料があると、皆さんが今日の会議のことを思い出して、勉強になると思います。</p>
議長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>市には、徘徊高齢者用の介護用GPSはありますか。</p>
事務局	<p>徘徊される方へのGPSについては、民間の製品はありますが、市の補助等はありません。市では「おでかけ見守りシール」といって、洋服や杖、靴などに張るシールを配布しています。シールについているQRコードを読み込むと番号が出ますので、警察や市役所に番号をご連絡いただくと、どこの方かわかる仕組みになっています。</p>
委員	<p>郵便局にも杖にQRコードをつけるものがあるが、居なくなった人を探すにはGPSが有効だと思うので参考に伺いたい。</p>
事務局	<p>今のところはありませんが、今後考えていくようかと思います。</p>

議長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
	<p>質疑がないようなので、次に（3）その他 を議題といたします。</p>
事務局	<p>特にありません。</p>
議長	<p>本日の予定していた議事につきましては全て終了いたしました。</p>
	<p>これをもちまして、議長の職を降ろさせていただきます。</p>
	<p>委員の皆様、ご協力ありがとうございました。</p>
	<p>7 その他</p>
	<p>事務局から連絡させていただきます。第2回飯能市介護保険事業計画等策定委員会を9月30日（水）13時30分からを予定しております。</p>
	<p>8 閉会</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和2年 月 日</p> <p>議長の署名 _____</p>	